

政策評価調書(元年度実績)

政策名	スポーツの振興	政策コード	Ⅲ-3	関係部局名	教育庁、企画振興部、福祉保健部
-----	---------	-------	-----	-------	-----------------

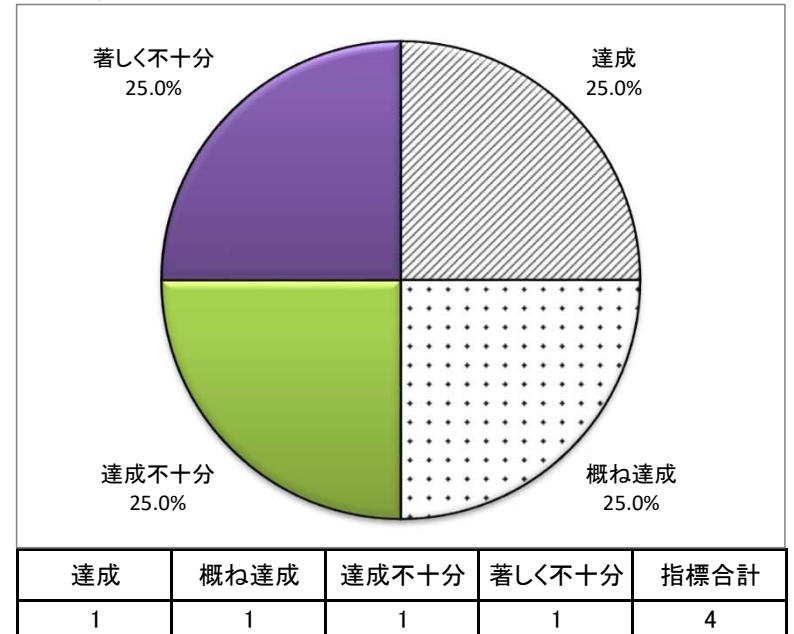
【Ⅰ. 政策の概要】

ライフステージに応じたスポーツの推進や県立スポーツ施設の整備等による県民スポーツの推進、ジュニア期からの一貫指導体制の確立や競技力を支える人材の養成等による世界に羽ばたく選手の育成のほか、国際スポーツ大会の誘致やラグビーワールドカップ2019のレガシー継承など、スポーツによる地域の元気づくりを進める。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	県民スポーツの推進	概ね達成	B
2	世界に羽ばたく選手の育成	著しく不十分	C
3	スポーツによる地域の元気づくり	達成	A

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

本県30～50代のスポーツ実施率は50%以下となっており、特に30代・40代の働きざかり世代では全国平均を10%以上下回る状況にある。県民が心身の健康の保持・増進を図り、健康で活力に満ちた生活を送ることができるよう、ライフステージに応じたスポーツを推進する必要がある。

R15月に県立武道スポーツセンターが開館したが、より多くの県民が生涯にわたり日常的にスポーツに親しめるよう、今後もスポーツ環境を整備していく必要がある。

また、ラグビーワールドカップ2019大分大会開催の効果もあり、東京2020オリンピック・パラリンピックや各種国際大会において、本県出身選手の活躍を期待する声が高まっている。優れた才能を持ったジュニア選手を発掘し、長期的視点に基づいた一貫指導体制による育成・強化が必要である。

県内のプロスポーツチームやスポーツイベントなどの地域資源を活用し、県民のスポーツへの関心拡大とスポーツに親しむ機運の醸成、スポーツ参画人口の拡大を図る必要がある。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
国際大会出場者数(人)	71.1%
<著しく不十分となった理由>	
R1年度は、新型コロナウイルスによる影響で年度末に予定されていた大会が中止となったことから、目標とする出場者数を達成できなかった。今後も、国際大会への出場を継続するため、優れた資質を有するジュニア選手の発掘育成の強化等により、世界に通じる優秀選手の競技力の向上を推進する。	